

SEICAによる農産物のブランド化

ー多様なカスタマイズと店頭における情報開示ツールー

技術の内容

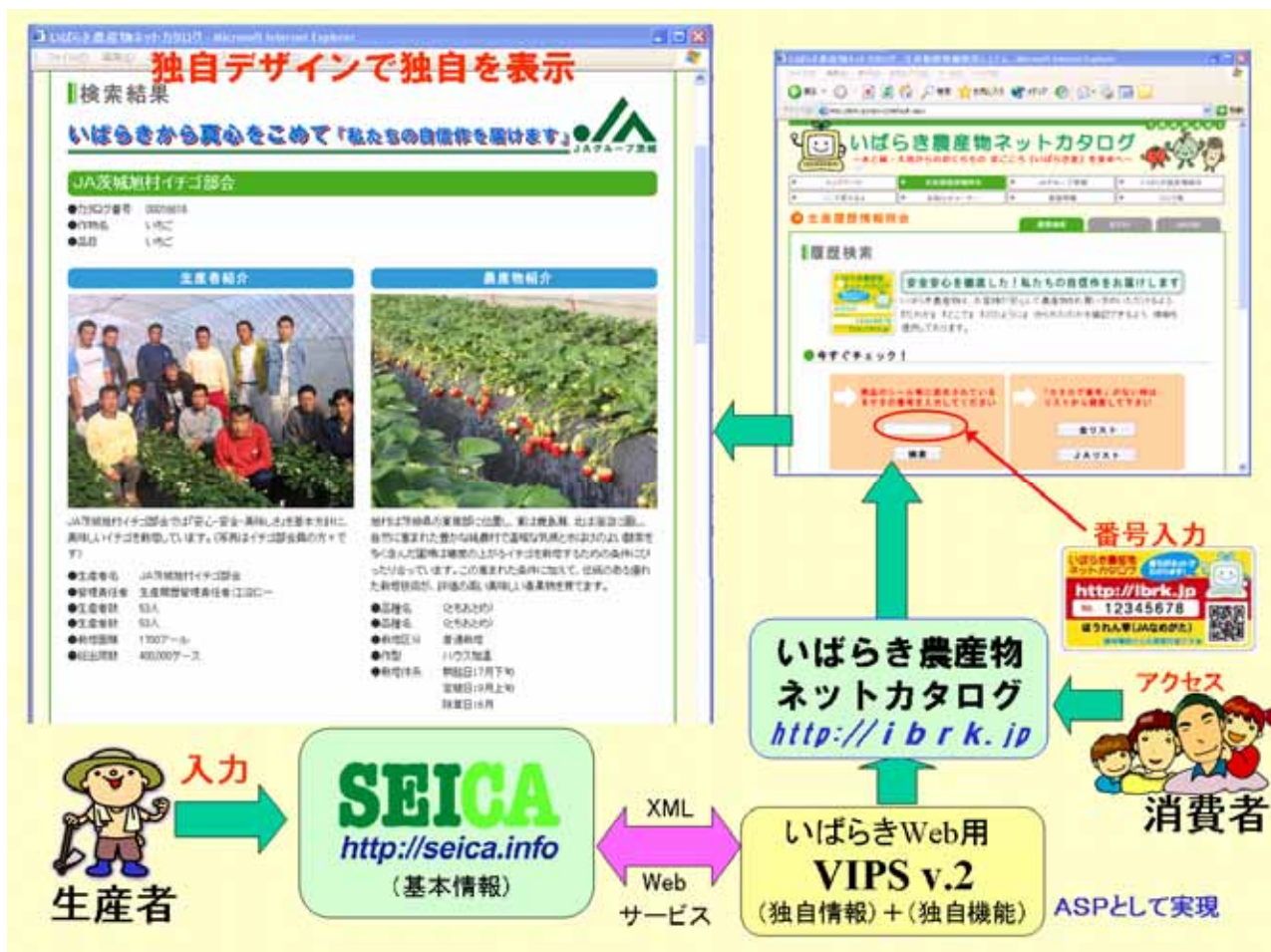
青果ネットカタログ (以下、SEICA)は、外部システムとデータ通信ができるWebサービスのインターフェースを有している。このWebサービスを使って、必要な情報を外部システムがSEICAからダウンロードし、情報を再利用するアプリケーションが次々と実用化されており、今後も様々な製品が出現するものと期待される。

研究の内容

他にも多くの民間システム・ソフトとの連携が進行中です。

・SEICAの機能拡張ASPサービス [VIPS v.2]

SEICAと連携することで、独自の情報公開システムを実現。システム利用を短期間で可能にするだけでなく、初期投資費用を低減し、システム運用管理の負担も軽減される。認証(フィルタリング)、アクセス解析、POPダウンロード、掲示板、自動アンケート、レシピ提供機能などを駆使して、産地のブランド化を推進することが可能。……参考出品: [SEICA対応新型店頭端末]



独立行政法人
食品総合研究所

代表研究者: 杉山 純一
所 属: 食品工学部 電磁波情報工学研究室
問い合わせ先: 〒305-8642
茨城県つくば市観音台2-1-12